

日本人観光客と外国人観光客の軽井沢への意識の差異

Difference in impression to Karuizawa between Japanese tourists and Foreign tourists

○福田拓哉¹, 池田はる¹, 佐々木隆成¹, 真砂哲也¹, 桃井悠¹, 小木曾裕²Takuya Fukuda¹, Yutaka Kogiso², Haru Ikeda¹, Ryusei Sasaki¹, Tetsuya Masago¹, Yu Momoi¹

Abstract: We surveyed the charm as the sightseeing spot and the refinement for foreigner in Karuizawa. The places of investigation are JR Karuizawa station and Karuizawa shopping plaza. We prepared for the questionnaire of four languages. A total of 385 people were surveyed, of which 236 were Japanese and 102 were foreigners. The Chinese had high ratio about the meal and shopping. Because results are different by a country, it is necessary to meet a great variety of needs. We assign a focus to "globalization" and want to do suggestion to lead to concrete development.

1. 背景と目的

軽井沢は長野県の東端に位置し、200年前は峠の宿場町であり、1866年に英国聖公会宣教師A・Cショー(1846～1902)により、軽井沢が避暑地として著名人に紹介され、その2年後に軽井沢初となる別荘を建て、以来政界や財界人を中心とした高級別荘地としての日本を代表する観光地になっている。また、日本は2018年に訪日外客数が3000万人を突破し、今後も2020年東京オリンピック開催や2025年には大阪万博開催と世界規模のイベントがあり、訪日外客数はさらに伸びると推測され、近年では中国・香港・台湾を中心とした外国人観光客にも人気の観光地となっている軽井沢も訪日外客数が伸びると推測できる。そこで本研究は軽井沢の訪れている日本人・外国人観光客に対して、軽井沢の来訪目的や魅力などに対する調査を行い、観光に対する意識の差異を明らかにすることを目的とする。さらに軽井沢の観光地としての魅力や日本で増加が見込まれる外国人観光客に対して軽井沢が改善すべき内容を考察する。

2. 調査方法

調査場所は、JR軽井沢駅のペDESTリアンデッキ(北口・南口)を地点A、軽井沢プリンスショッピングプラザを地点B(以下地点A・Bとする)に選定した。これらの地点を選定した理由は、日本人・外国人の観光客が軽井沢の中で多く利用している施設であると推測したからである。地点Aでは、外国人が、地点Bでは日本人が多く見受けられた。この2地点で日本語、中国語、台湾

語、英語の言語別、合計7つの質問からなるアンケート用紙を配り、対面式アンケートを各地点の利用者に行い、集計結果を分析した。

3. 結果と考察

アンケート調査の回答者数は338名で、日本人が236名、外国人が102名(台湾37名・中国27名・香港17名・フランス4名・アメリカ3名・ドイツ2名・タイ2名・ベルギー2名・インドネシア2名・マレーシア2名・ロシア1名、フィリピン1名・スリランカ1名、ベトナム1名)という内訳である。「軽井沢の魅力的なポイント」に関する回答では、日本人は「緑・自然」40%、「気温・気候」36%、「文化」5%、「食」6%、「ショッピング」10%、「その他」3%であるのに対して、中国人は「緑・自然」31%、「気温・気候」23%、「文化」6%、「食」17%、「ショッピング」20%、「その他」0%、台湾人は「緑・自然」39%、「気温・気候」35%、「文化」7%、「食」3%、「ショッピング」16%、「その他」0%である。日本人と台湾人では大きな差異はないが、中国人は「食」「ショッピング」の比率が多いことがわかった。

これらのことより、軽井沢の魅力的なポイントは出身国によって捉え方が異なることが示唆された。日本人は軽井沢の大きな特徴である避暑を求めているが、外国人の観光客は普段自国では口にしない日本食を軽井沢に求めている。外国人観光客の動向から、日本人が気づきにくい魅力を把握することができた。今後、日本に多くの外国人観光客が見込まれている中、より一層、「国際化」にフォーカスを当てる必要があると考えられる。そのため東京と交通の便が良い、人気観光地軽井沢には多くの外国人観光客を受け入れる態勢を築かなければならない。国により感じる魅力が異なる結果が得られ、多種多様なニーズに応える必要があることがわかった。本ポスター発表では、「国際化」にフォーカスを当てたアンケート結果を元にデータとして明確に表して具体的な発展に繋がる提案や改善点を示す。

謝辞 本研究ではアンケート調査を許可して下さった、軽井沢市役所、軽井沢プリンスショッピングプラザ及び、アンケートにご協力頂いた方々の協力に感謝申し上げます。

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち